

2023年

8月号

大野城市
北コミ

そら 宙まどか通信

vol.77

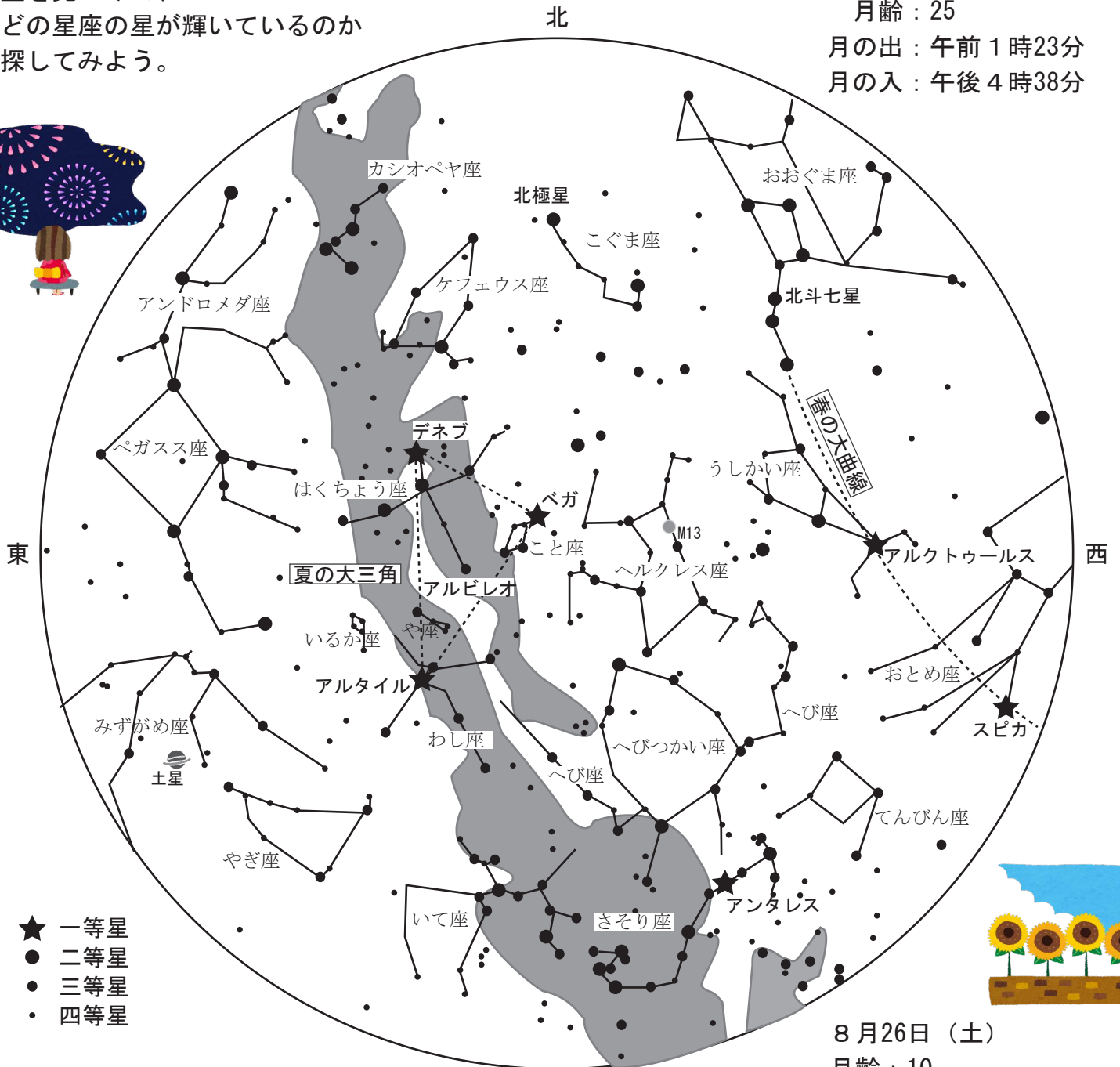
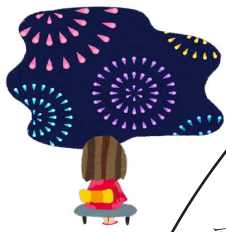
空を見上げて、
どの星座の星が輝いているのか
探してみよう。

8月12日(土)

月齢：25

月の出：午前1時23分

月の入：午後4時38分



- ★ 一等星
- 二等星
- 三等星
- 四等星



8月
1日 午後10時の星図
15日 午後9時の星図

8月26日(土)

月齢：10

月の出：午後3時06分

月の入：——時——分

大野城市 北コミュニティセンター

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川一丁目17-1 休館日：毎月第3火曜日(休館日が祝日の場合はその翌日)
 年末年始(12月28日から翌年1月4日まで)
 TEL: 092-513-0099 開館時間：午前9時～午後9時
 FAX: 092-504-5102

今月のイベント

8月6日(日)
午後2時～午後4時

「望遠鏡工作」

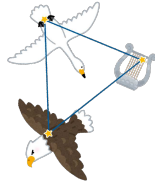
自分だけの望遠鏡を手作りしよう。
上手に使うと土星に環があるのもわかります。



8月12日(土)
午後7時～午後8時50分

「夏の大三角」

夏の大三角をつくる星たちを観測しよう。
まわりには小さな星座が隠れています。



8月19日(土)
午後7時～午後8時50分

「伝統的七夕と星」

七夕はすっかり終わったと思いませんか。
昔ながらの七夕の日はまだあります。



8月20日(日)
午前10時～午後1時

「太陽観測会(御笠川フェス)」

暑い日に熱い太陽を観測しよう。
太陽から噴き出すガスの様子が見られます。
(晴天時のみ)



8月26日(土)
午後7時～午後8時50分

「月の地形をじっくり見よう」

半月より少し進んだ月を見よう。
クレーターや欠けぎわの地形がよく見えます。



8月天文カレンダー

- 1日(火) スターウィーク～星空に親しむ週間～
(～7日まで)
- 2日(水) 月の距離が近い(35万7311km)
満月 ○(バックムーン)
木星が西矩
- 3日(木) 月と土星が接近
- 8日(火) 月と木星が接近
立秋(太陽黄経135°)
下弦の月 ●
- 10日(木) 月とプレアデス星団が接近
水星が東方最大離角
- 11日(金) 天王星が西矩
- 12日(土) 金星が内合
- 13日(日) 水星と火星が最接近
ペルセウス座流星群が極大
(出現期間: 7/12～8/20)
- 16日(水) 月の距離が今年最遠(40万6634km)
新月 ●
- 22日(火) 伝統的七夕(旧七夕)
- 23日(水) 処暑(太陽黄経150°)
- 24日(木) 上弦の月 ●
- 28日(月) 土星が衝
- 30日(水) 月と土星が接近
- 31日(木) 月の距離が今年最近(35万7181km)
満月 ○(スタージョンムーン)
ブルームーン



～7千天文情報～



「土星観測シーズン到来！」

8月28日に土星が衝を迎えます。衝とは太陽—地球—土星と一直線に並ぶタイミングのこと。正面から太陽の光が当たって綺麗に見えるだけでなく、日の入と同じタイミングでのぼってくるので一晩中楽しめます。今年の土星はちょうど「みずがめ座」のところにいます。秋唯一の1等星フォーマルハウトと秋の四辺形の間に見えているハズです。夜空を見上げて探してみましょう。

さて、土星と言えば環を持っているのが特徴の惑星です。土星本体の2倍以上にもおよぶとてつもなく巨大な環(望遠鏡で見えている部分だけで半径約14万km)ですが、環の厚さは1km以下ととても薄いため、15年に一度地球からほとんど見えなくなる「環の消失」が起こります。次の消失は2025年ともうすぐ。今年はまだ土星らしい姿を見ることが出来ます。

土星の観測は8月下旬～12月下旬ごろまでがオススメ！(午後8時ごろに観測する場合)